

過去に演フェスにご参加いただいた皆さま、前号(第1号)でご提出お願いしておりました「活動状況調査アンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございます。



この「賑々しい」感を再び! (演フェス期間中より)

皆さまからご回答いただいたアンケートの集計は下記に取りまとめさせて頂いておりますが、難しい状況

の中での活動となっている事が、アンケートの文面から読み取ることができました。

【活動状況アンケート集計】※抜粋

(1) 現在の活動状況について

- ① 定期的に活動している … 7 団体
- ② 不定期に活動している… 1 団体
- ③ 活動休止中 … 1 団体

(2) 活動の内容について

殺陣の稽古・イメージ動画撮影など／新作の制作・整作／劇作レッスン(筆談で可能なので)／新作に取りかかり通し稽古ができるようになった／YouTubeに動画UP。ZOOMで生配信できないか検討中／コミュニケーションをとるためのゲーム、脚本の読み合わせ。近況などの意見交換／身体訓練。読みあわせや声を出すことは控えています／発声練習、読み合わせなど。源氏物語についての学習活動。

(3) 活動を続けていく上で工夫している事

常に稽古場の窓は解放状態。マスク常時着用。最大限距離をとる。アルコールなどで手指消毒。使用前後の会場備品消毒。稽古場へ足を運びにくくなっている座員向けに、スカイプでの稽古参加環境を整えた。／36畳程の部屋でなるべく離れて製作／「劇作

遊び」を始めました(提案者が準備して、その用紙にセリフを書き込む方式)。／稽古場は自宅なので一人でいつも大声をあげて稽古している／会わない／マスクやフェイスシールド着用をして発声練習。ホールなど広い場所での練習。1時間に1回の換気休憩

(4) 活動を続けていく上で困っている事

発表の場となるイベントやお祭りが中止になり、生活も変化し、メンバーのモチベーションが心配です／公演依頼があっても「マスク着用してほしい」の要望に応えることができない。／通信費用・印刷費が高み、心配になる／舞台の中では自力でやる様工夫しているが公演時の道具搬入・セット・バラシなど、助手なしでは出来ない／発表の場がない／発声練習ができない。上演目標が立てづらい。公演日を決めきれない。座員全員にオンライン環境があるわけではなく、もしまた集まらない状況となった場合、参加



合同創作劇「百年のあくび」ワークショップより

できない人が出てくる／たくさんの人数で芝居をうつのがこわく、稽古もたくさんでやるのが恐いことです／マスク着用の練習では表情が見えないうえに声が通りにくい。対面や近距離での演技の練習ができないので、発声練習や読み合わせ練習のみになってしまう。

(5) 今後の活動について

演フェスへの参加を考えている… 7 団体
自主公演を予定している… 2 団体

上記の回答より、日々の活動を模索されている印象が強く、演フェスとしてその一助となるよう、裏面に活動支援プログラムをご用意しました。

舞台創造アシスト事業のごあんない

演フェスでは、この1年間をただ「お休み」するのではなく、次回の演フェスをより良く迎えられるよう、企画検討を続けております。つきましては日々の皆さまの活動にご助力できるよう、下記のとおり「舞台創造アシスト事業」を実施します。是非ご活用いただき、より良い活動へと繋げていただければ幸いです。

内 容 要望や相談の内容に応じて柔軟に対応します！

過去にKyoto演劇フェスティバルへ出演された団体を対象に、希望のあった団体の活動現場にプロの演劇人・専門家を派遣し、活動について相談・や創造面／演出面の指導、観客としての講評・感想コメントなど、希望内容に応じたアシストを行います。

実施期間 2020年11月～2021年2月

派遣料 無料

申込方法 派遣可能な委員一覧をご覧のうえ、事務局まで下記情報をFax・郵送・E-Mailにてご提出下さい。事務局(もしくは派遣講師)と参加団体の間で日程等を調整した後、派遣を決定します。

団体名・連絡担当者名とTEL／MAIL・希望講師・希望内容・開始時期(日程)・派遣会場・団体情報

実施開始 2020年11月1日より受付開始

※お申込があり次第、順次調整を開始します。

ご 注 意 当企画で派遣される講師は、「演出」など団体内の役割を負うものではありません。
また、上記理由により派遣回数は3回が限度となります。

お問合せ・お申込み 〒602-0858 京都市上京区河原町通広小路下ル 文化芸術会館内
Kyoto演劇フェスティバル事務局「舞台創造アシスト事業」係まで
Tel/075-222-1046 Fax/075-211-2013 E-Mail/kaikan@bungei.jp

舞台創造アシスト事業 派遣予定講師一覧(2020年10月25日現在)

氏 名	派遣可能予定日	サポート内容
飛鳥井かざり	応相談。(昼も可)	朗読・演劇指導。
岡田 尚丈	応相談。	台本・演出・舞台・制作の助言。必要なら身体訓練等
高杉 征司	応相談。	・演技の方法や可能性の提示、またそのトレーニング。 ・俳優それぞれの個性を活かしたアドバイス／など
田辺 剛	応相談。(昼も可)	脚本執筆、演出、演技指導、企画制作
中田 達幸	応相談。	役者・演出への助言、演技基礎指導など
中村 昌剛	応相談。	人形劇の創作活動全般の相談・指導。
人形劇団京芸	応相談。	人形劇の創作活動全般の相談・指導。
パーカーズ (木原アルミ・山谷一也)	応相談。	・パントマイムの基本テクニックの指導。 ・無対象の演技・演出に対するアドバイス。
椋平 淳	応相談。	作品の演出作業全般に対するアドバイス。 (台本の修正のしかたや、美術・音効・照明への助言も含む)

【京都府文化活動継続支援補助金の募集について】

京都府では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、文化活動を自粛・縮小せざるを得ない状況におかれた文化芸術関係者が、活動を継続・再開できるよう、創作活動を準備段階から支援するための補助金を創設し、募集しています。(対象経費の3分の2補助／補助限度額20万)

詳細は <https://www.pref.kyoto.jp/bungei/news/keizokusien.html>もしくは「京都府文化活動継続支援補助金」でお調べください。

お問合せ・ご相談

京都府文化芸術関係者支援相談窓口

✉ <https://www.kyoto-artsconsortium.jp/inquiry/> ☎075-414-5549(受付 平日9時～17時)